

\*\*\* 事 \*\*\*

例会記録

十二月例会 (日本薬史学会・日本獣医師学会と合同)

平成十三年十二月十五日

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、わが国における犬の狂犬病の流行と防疫の歴史

唐仁原景昭

一、日本の終末期医療と安楽死の歴史

新村 拓

一、フリードリッヒ一世の皇帝の書 (一二三一年)と

追補 (二二四〇年) の発布とその背景

辰野 美紀

一月例会 平成十四年一月二十六日

順天堂大学医学部八号館三番教室

一、日本医史学会史 資料供覧

岡田 靖雄

一、江戸幕府寄合医師添田玄春の日々の暮らし

深瀬 泰旦

訂正

本誌第四十七巻第二号において、五月例会に演者の変更がありましたので、左記訂正致します。

五月例会 平成十三年五月二十六日

順天堂大学医学部九号館八番教室

一、東京大学医学部とお雇い外人教師

酒井 シツ

一、私の垣間見た近世漢方史の一面

菊谷 豊彦

例会抄録

関東大震災と横浜「関西村」の病院について

中西 淳朗

七十八年前の大正十二年(一九二三)九月一日午前十一時五十八分に、相模湾西部の地下二八kmを震源とするマグニチュード七・九の大地震が、東京・神奈川・千葉・静岡・山梨の各地を襲った。中でも東京市、横浜市は家屋の倒壊に続いて大火災を引き起し、わが国未曾有の都市災害をもたらした。

この震災の被害については、東京市が詳しく報じられているが、横浜市については広く知られていない。即ち、家屋の全焼六二、六〇四戸、全潰九、八〇〇戸、死者二一、三八四人、重傷者三一、〇一四人、行方不明一、九五一人で、横浜の被害面積は宅地総面積の総八割に達したという。